

SEKONIC

デジライト L-318B

使用説明書

お買いあげありがとうございます。
この使用説明書をよくお読みにになり、安全に正しくお使いください。

仕様

- 測定、測光方式 ●アタッチメント交換による入射光式、反射光式兼用、定常光用デジタル露出計
- 測定範囲 ●EV -1 ~ 19 (ISO100)
- くり返し精度 ●±0.1EV
- 受光部 ●入射光式……光球、白色平板
●反射光式……光角度板(受光角54°)
●受光素子……シリコンフォトダイオード
●ビューファインダー5°(別売)
- 校正定数 ●C=340、K=12.5
- 表示数値 ●ISO(フィルム感度) 3~8000(1/3SVステップ)
●T(シャッター速度) 30分~1/8000秒(ITVステップ)
●ムービーコマ数 8、16、18、24、32、64、128コマ
●F(絞り) 1.0~90(0.1AVステップ)
●EV(露出値) -6~25.9(0.1EVステップ)
●F.EVの小数項(0.1EV単位)
● (0.1) ~ (0.9)
- その他の表示 ●測定範囲外E.u(アンダー) E.o(オーバー)
●測定モード F EV T C
●バッテリーチェック b.c ~
- 使用電池 ●単三乾電池(1.5V) (LR-6、R-6) 1本
- 標準付属品 ●光球、白色平板、光角度板、ストラップ、電池
- 大きさ、重さ ●121×64×23mm
約110g(電池含まず)

※この取扱説明書に記載の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

各部の名称



表示

①電源スイッチをONしたときb、cの文字が表示されます

②測定F値の整数項が表示されます
測定常光(1.0~90)

③測定EV値の整数項表示(-6~25)

④E.u、E.oのエラー表示がされます。

モード表示
ムービーモードの場合、ここにCが表示されます。
この場合、タイム表示部にコマ数が表示されます。

ISOキーとアップダウンスイッチの操作によりフィルム感度が表示されます
(ISO3~8000)

F/EVキーの操作によりF又はEVが表示されます

測定F値のデジタル部がドットで表示されます

①電源スイッチONにしたとき電池容量の表示がされます
(. .)

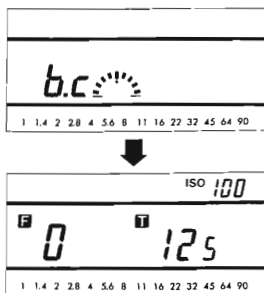
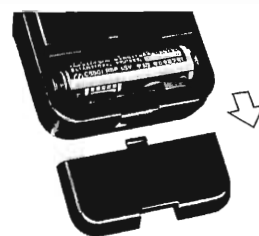
②測定F値、EV値の小数項が表示されます
(. (0.1) ~ (0.9))

アップダウンスイッチの操作により設定タイムが表示されます
30m~1/8000s
mは分 sは秒
m.sなして1/n秒表示
ムービーコマ数は1/8000sのあとに8 16 18 24 32 64 128と表示されます

測定の準備

1 電池を入れます

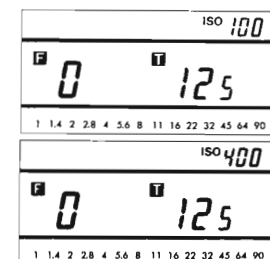
- 電池ふた⑨の凹凸部に指をかけ押しながら矢印の方向に引いてはずします。
 - 電池の⊕を電池ケース内の表示に合わせて⊖側を先に入れ⊖側に指で押すようにして挿入します。
 - 電池ふたを本体に合せ、スライドさせて取りつけます。
 - 電源スイッチ⑥を上側に押してONすると液晶表示部②に b.c文字と電池容量が表示され、そのあと測定モードに切り換ります。
- 電池容量が少なくなるとドット表示が少なくなり、不足するとb.c文字の点滅、又は表示がされません。
- ONの状態では放置しますとオートオフ機能が働き約4分後に自動的に液晶表示が消えます。



- オートオフ後再度使用するとき、及び電源スイッチをON・OFF・ONと操作するときは、OFFで2秒ほどおいて次にONしてください。
- 充電式電池(KR-AA)は使用できません。
- 電池を入れるとき電池の接点の汚れをふいてください。
- 電池の取り外しは⊕側に指先をかけて⊖側に押すようにして取外してください。⊖側より外すと接片をいためることがあります。
- 電圧が低下した電池は、一時的にb.c表示がされても、異常な表示をすることがあります。このようなときは新しい電池と取りかえてください。
- 測光中、液晶表示部に表示された文字全部が点滅することがあります。このときは電池の容量不足ですので新しい電池と取りかえてください。

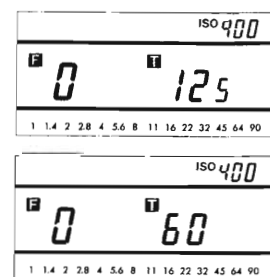
2 フィルム感度(ISO)を合せます

- 電源スイッチ⑥ONの状態ではISOキー③を押したまま、アップダウンスイッチ⑧の操作でフィルム感度を変換します。
- (例) 右の下図は、上図よりISOキーを押したまま、アップダウンスイッチの▲側を6回押しして変換した図です。
- ISOキーを押したまま、アップダウンスイッチの▲又は▼側を1秒以上押すと、押している間ISOの数値が0.3秒間隔で連続変換されます。
 - 設定されたISOの数値は、電源スイッチをOFFにしても電池が有効な間メモリーされています。



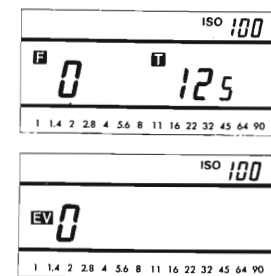
3 タイム(T)を合せます

- 電源スイッチ⑥ONの状態ではアップダウンスイッチ⑧の▲又は▼マーク側を押して使用するタイムに合せます。
- (例) 右上図のときアップダウンスイッチの▼側を1度押しすると下図のようになります。
- アップダウンスイッチの▲又は▼マーク側を1秒以上押すと押している間、0.3秒間隔で連続変換されます。
 - 設定されたタイムの数値は電源スイッチをOFFしても電池の有効な間メモリーされています。



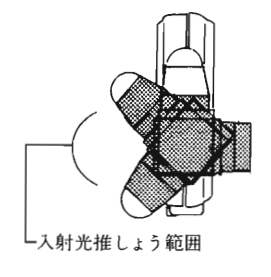
4 測定モード(F/EV)の切り換え

- 測定モードは絞りF、タイムTの組合せ測定モードとEV測定モードの切り換えができます。
- ONの状態ではF/EVキー④を押すとF/EV表示モードが交互に切り換えられます。
- ※電源スイッチ⑥OFF、またはオートオフ後、再度ONの場合はT、F組合せ表示になります。



5 受光部アタッチメントの取り付け

- この露出計は受光部アタッチメント交換式です。測定目的に応じてアタッチメントを取りつけてください。
- 1 受光部ヘッド⑤の凸部とアタッチメントの凸を合わせてはめ込みます。
 - 2 時計方向にクリックするまで回します。
 - 3 受光部ヘッドは270°回転しますが各アタッチメントに適合した角度で、液晶表示部②の読み安い方向で測定してください。



※入射光式は図の様に液晶表面側±45°以内で測定することをおすすめいたします。

測定

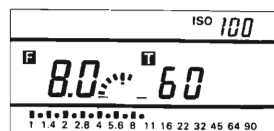
1 測定範囲内の表示

フィルム感度 (ISO)、タイム、受光部アタッチメントのセットをすませてください。

1 電源スイッチ⑥をONにします。

図A

2 露出計本体を正しく保持し測光スイッチ⑦を押します。

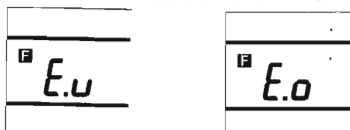


3 そのとき表示されたタイムと絞りの組合せが適正露出になります。

- この露出計は測光スイッチを押している間測光値は明るさに応じて変化します。
- 測光スイッチを離れたときの表示は、オートオフ又は電源スイッチ OFF までロックされています。

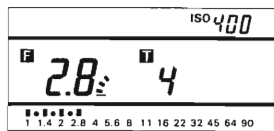
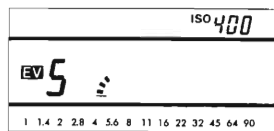
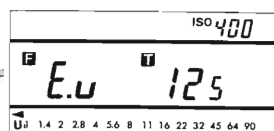
2 測定範囲外の表示

下図の表示が測定範囲外の表示です。



※上図のような表示がされた場合F/EV キーでEV表示に変換して測定値が表示されれば、タイム変換によってTとFの組合せ表示ができます。

※EV表示でもE.u、E.oであれば測定範囲外です。



反射光式測定の場合

この方法は被写体からの反射光 (輝度) を測定する方法です。入射光式では、測定困難な発光体や透過光の測定及び被写体輝度の相対比 (被写体コントラスト) を測るときに用います。

A 光角度板⑫を用いて

- カメラ位置、またはカメラ方向から被写体の測定したい部分に光角度板を正しく向けて測定してください。
- カメラ位置で測定すると被写体全体の平均測定になります。
- 部分測定するときは、できるだけ被写体の主要部分に近づいて測定してください。(露出計等の影が測定部分に入らないように注意してください)



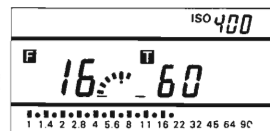
B ビューファインダー5° L-328VFを用いて (別売)

- このビューファインダーをつけて測定すると、カメラ位置で被写体の主要部分をファインダーで確認しながら測定できます。
- 受光角は5°と狭いので、被写体のコントラスト等を測定するとき便利です。
- 測定値は自動補正されています。詳しくはビューファインダー5° L-328VFの説明書をご覧ください。

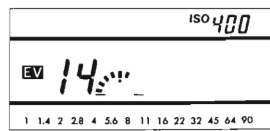
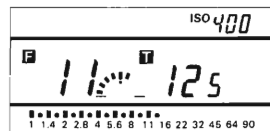


3 測定後の演算

- フィルム感度を変更する場合は、測定後、ISOの変換により測定値の演算が自動的に行なわれます。
- 測定後タイムの変換をするとF値の演算が自動的に行なわれます。
- F/EVキー④を押すことによってF・Tの組合せ表示、EV値演算切替表示がされます。

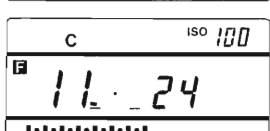
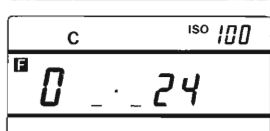
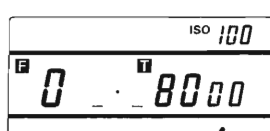


図A表示よりISO100と400に変換した例 (F 8がF 16に変わる)



4 ムービーカメラの場合

ムービーコマ数は、アップ・ダウンスイッチ⑧の▲側を押すと、タイム1/6000のあとにコマ数が表示され、このときモード表示部にCが表示されます。8、16、18、24、32、64、128です。(コマ数はシャッター開角度180°の値が表示されています。) 測光スイッチ⑦を押すと、そのときの明るさがムービーコマ数に対応したF値で表示されます。



簡易照度計として測定の場合

照度 (ルクス) の測定

白色平板⑩を使用して簡易照度計として概略の照度を測定することができます。

1 ISOを100、EV測定モードにセットします。

2 白色平板と測定面と平行にして測光スイッチ⑦を押します。

3 測光されたEV値より計算で求めることができます。

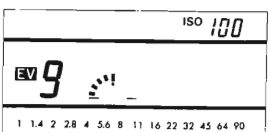
$$\text{照度 (LX)} = 3.4 \times 2^{\text{EV}}$$

(例) 図の値では EV 9.5

$$\text{LX} = 3.4 \times 2^{9.5} = 3.4 \times 724 \approx 2400 \text{ LX}$$

又、下記簡易対比表よりも求められます。

小数	整数	-1	0	1	2	3	4	5	6	7	8
		1.7	3.4	6.8	14	27	54	108	216	435	870
		2.4	4.8	9.6	19	38	76	152	300	600	1200
小数	整数	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		1740	3500	7000	14000	28000	56000	111000	223000	446000	892000
		2400	4800	9800	19600	39400	78800	157000	315000	630000	1260000



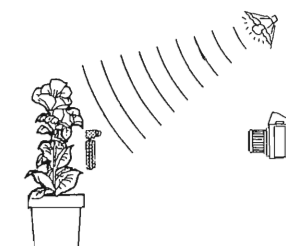
入射光式測定の場合

- この方法は被写体に当る明るさを直接測る方法です。ほとんどの被写体に対して明暗比を忠実に再現し画面全体が自然な調子で描写できる露出が簡単に得られます。
- 入射光式測定は被写体のバックの影響を受けず被写体に対して平均的な露出値を求める時に適しています。

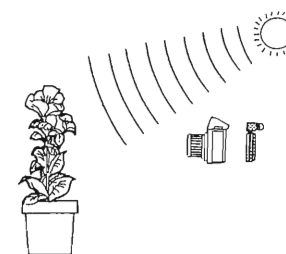
A 光球⑪を用いて

●ポートレートその他立体的な被写体を撮影するときに用います。

- スタジオ等で人工光で撮影するときはかならず被写体位置に露出計をおき光球をカメラの光軸方向に向けて測定してください。



- 自然光 (太陽光) で撮影するときは被写体とカメラの位置の光線状態が同じならカメラ位置で測定することができます。
- ※被写体が発光体の場合は光球白色平板では測定できません。



アフターサービスについて

☆弊社の製品には一定の期間内無料修理をお受けする保証書が添付されておりますので、記載事項をお確かめのうえ販売店よりお受け取りください。なお保証書の再発行は致しませんので、取扱説明書と併せて大切に保管してください。

- 無料保障期間などについて
 - ①無料保障期間はご購入日より1ヵ年間でございます。
 - ②保証書にお買上げ日および販売店名のないものは保証の対象になりませんので、必ずお確かめください。
 - ③無料保証期間内でも有料修理となる場合もございますので、保証書の記載事項をお確かめください。
 - ④保証期間経過後の修理は有料となります。また、運賃諸掛りはお客様にご負担願います。

- 補修用性能部品の保有期間などについて
 - ①補修用性能部品は5年間を目安に保有しております。したがって、本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお故障箇所によりましては期間が過ぎても修理可能な場合もありますのでサービスセンターにお問合せください。
 - ②修理可能期間はお使用の状態や環境、お手入の状態などによって異なる場合がありますので、現品をご持参のうえお買上げ店またはサービスセンターにご相談ください。
 - ③修理可能期間内でも浸冠水、強度のショック、その他損傷のいちじるしいもので、修理後の機能維持に問題

が残ると思われまますものにつきましては修理不可能となる場合があります。

- 修理ご依頼時における留意事項
 - ①修理品につきましては、故障内容を、またご指定の修理箇所があります場合には、その指定箇所をできるだけ具体的にお申し出ください。ご指定のない場合には、各部点検をはじめ品質的、性能的に必要と認められるすべてのところを検査・調整・修理することになり、修理料金が加算される場合がありますのでご注意ください。
 - ②修理をご依頼されたものの中には、単に電池を交換するだけで正常に作動する「故障していないもの」が見受けられます。電池の容量低下、⊕ ⊖の逆、定格違いなどについて、よくお確かめください。

- 転居の場合の手続きについて
 - ①転居で販売店にご依頼しにくい場合は、最寄りのサービスセンターにご相談ください。

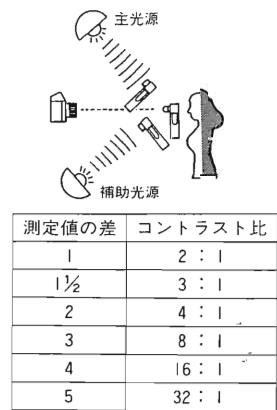
- お問合せ先きについて
 本製品の保証、修理、使い方などのお問合せは、最寄りのサービスセンターをご利用ください。

B 白色平板⑩を用いて

多灯ライティングを行い主光源、補助光源等で被写体にコントラストをつけると明暗比のある立体的な写真を撮ることができます。

照明コントラストの測定の仕方

- 1 被写体位置で白色平板を主光源に向けて測定し、そのときの明るさを読みとります。
 - 2 次に被写体位置で白色平板を補助光源に向けて測定します。(このときは主光源を消してください)
 - 3 主光源と補助光源の測定値差よりコントラスト比を求めます。
- 定常光モードのときはEV値で測定すると便利です。
- (例) 主光源 EV 12.5、補助光源で EV 10.5 の場合



12.4 - 10.5 = 1.9EV差 コントラスト比は約4 : 1となります。

●F値で測定の場合はドット表示部のドット数の差より求めると便利です。

(例) 主光源 F 16、補助光源 F 80 の場合

●●●●●●●●●●……………補助光源のとき
●●●●●●●●●●……………主光源のとき
1 1.4 2 2.8 4 5.6 8 11 16 22 32 45 64 90
← → 2絞り差のため、コントラスト比は4 : 1となります。

4 露出の決定は、主光源と補助光源を点灯し光球を使用して測定します。

取扱上の注意

お買い上げいただいたSEKONIC DIGI LITE L-318Bは多くの電子部品で構成された精密電子機器ですので、下記の点にご注意ください。

- a・落下、または急激な衝撃は絶対にさけてください。
- b・極度の高温、多湿な場所には保管しないでください。
- c・光球、白色平板は傷がつかないように、また常に清潔に保つようにしてください。
- d・余分な電池の消えを避けるため、使用時以外は、できるだけ電源スイッチをOFFにしてください。
- e・この露出計の使用温度範囲は、0°C ~ +40°Cです。
- f・保管温度範囲は -20°C ~ +60°Cです。

万一故障がおきましたときには、最寄の営業所、またはサービス・センターにお持ちください。お近くに、営業所またはサービス・センターがなく郵送される場合には厚さ3cm以上の衝撃受けパッキングに包んでから、段ボールなどで梱包してください。

株式会社 セコニック

本社 〒178-8686 東京都練馬区大泉学園町7-24-14 ☎03-3978-2366
写真機材グループ 〒178-8686 東京都練馬区大泉学園町7-24-14
☎03-3978-2366 FAX03-3922-2144